

第6回根研究集会報告

矢野勝也（名古屋大学農学部）

去る1996年10月26日（土）、名古屋大学農学部において、第6回根研究集会が開催されました。今回の研究集会では、一般講演では質疑応答を含めて発表時間15分でしたが、お昼休みをはさんで午前10時から午後3時まで、16題の講演発表がぎっしりとつまっていました。さらに、海外から招いた研究者の特別講演3題と、根研究会で最初の根研究会学術功労賞受賞式ならびに記念講演も行われ、かなりのボリュームであったと感じています。参加者は北は秋田から南は九州までのべ65名を数え、こちらで用意していた部屋の収容スペースでは、やや手狭さを感じさせるほどでした。

多様な研究分野の方々に参加していただいたおかげで、取り扱われた植物種が様々であることはもちろん、内容的にも根の生理、生態、遺伝、土壌微生物との相互作用、モデルを用いた根系形態の評価に関する報告など多方面から行われました。また、これまで研究者によってまちまちであった植物根の記述に対して、根の命名法を国際的に統一しようと試みられている動きについて、その内容の紹介と問題点を解説する報告もあり、根を研究対象にする私たちがしばしば戸惑う基本的な問題についても意見が交わされました。

また、特別講演は海外からの3人のゲストスピーカによるもので、それぞれ異なる国の方々ですが、いずれもイネを対象とされています。まず、国際イネ研究所の Len WADE 氏から、土壌の嫌気条件と好気条件が複雑に交錯する天水田での根の生長と機能が論じられました。次に、韓国国立作物試験場の Jin Chul SHIN 氏からは、モデルを用いた水稻根系の分布について報告があり、さらにアーカンサス大学の C. A. Beyroudy 氏からは、Barberの養分吸収モデルの水稻へ展開した研究が報告されました。

引き続き、根研究会学術功労賞を受賞された高橋秀幸氏の記念講演が行われ、古くから想定されていたにもかかわらず、最近までその存在が不明であった根の水分屈性を鮮やかに浮かび上がらせた氏のお仕事には、たいへんドラマチックな印象を受けました。その後、講演会場は懇親会場へと早変わりし、さらに議論を白熱させることができ、私自身大いに刺激された有意義な一日となりました。



高橋秀幸氏

ページ数の関係で、本号ではプログラムのみを掲載し、講演発表の要旨は次号に回させていただきます。どうぞご了承下さい。（事務局）

プログラム

《一般講演の部》

1. 飯島盛雄「植物根の命名法統一に関する国際的動向」
2. 小柳敦史「根の深さ指数」の計算方法とその利用法」
3. 谷本英一・山本良一「根細胞壁の伸長性計測法－クリーブ法による粘弾性解析－」
4. 一井眞比古・梁正偉「イネ種子根のらせん伸長性と環境応答」
5. 赤坂庸子・大門弘幸・上田英二「ラッカセイの毛状根における分枝根発生と根粒の形成」
6. 中野明正「ノンストレス肥料が根の分布および形態に与える影響」
7. 関本均「画像解析による植物根圏のpHの観察－根圏の養分動態のマクロな評価はできないか－」
8. 大谷卓「リン酸吸収における根長の意義－リン酸肥沃度・土壌容積・栽植密度と根長の関係」
9. 俵谷圭太郎「Arbuscular菌根菌接種効果のネギ品種間差」
10. 泉泰弘「水稻種子根系のアーキテクチャーにおける近縁品種間差異の定量的解析」
11. 城田徹央「スギ・ヒノキ実生苗根系のトポロジー解析：特にパイプモデルとの関係から」
12. 峯苔栄子「海岸クロマツ林内に生育するアカメガシワの根萌芽の分布」
13. 山下研介「ウンシュウミカンの地上部、地下部の相互作用に関する二、三の知見」
14. 大橋瑞江・玉泉幸一郎・斎藤 明「植栽鉢から放出される二酸化炭素に占める土壌微生物と根の呼吸速度の割合」
15. 森田茂紀・萩沢芳和・阿部淳「稻株の周長と茎数を利用したファイトマーの大きさの推定」
16. Mark Lieffering 「Relationships between root restriction, plant growth and cool temperature induced male sterility in rice」

《特別講演の部》

1. Len Wade 「Understanding the root growth and functions under the anaerobic-aerobic transition of the rainfed lowland」
2. Jin Chul Shin 「Descriptive model for the root distribution of lowland rice」
3. Craig Beyrouty 「Relationship between rice root growth and nutrient uptake」